

都立入試での対話文・長文問題について

都立入試は全教科が 50 分で行われます。英語の試験では①のリスニング問題で 12 分程度は確実に使われるので、それを除いた 38 分でその他の問題を解くことになります。②の図表と対話を読み取る小問題 3 問と英作文に約 15 分かかるとすると、対話文の③、長文の④にはそれぞれ 12 分の時間しかかけられないことになります。

①	リスニング(11~2分)	}	合計 50 分
②	小問題3問(10分)+英作文(5分)		
③	対話文(12分)		
④	長文(12分)		

英作文に時間を取られると、対話文や長文を読む時間が無くなります。対話文・長文のミスが減らすためには、焦らずに読む時間を確保するように、時間をかけずに英作文ができるようになることも必要です。(場合によっては英作文の 12 点の配点を捨てる覚悟で)

対話文は複数の登場人物のセリフがあるので、それぞれのセリフの ”I” “you” “he (him)” “she (her)” がだれを指しているのか混乱しないように。

長文は主に物語文で、過去や現在などの時制に注意。一つひとつの文を正確に訳すよりも、全体の流れをつかむことの方が大切です。わからない単語はとばしてしまいましょう。(わからない単語が多すぎると、内容がわからなくなりますが・・・)

ときどき行間に単語の意味をメモしている人がいますが、知っている単語の意味をメモする時間がムダです。そんなことをする暇があったら、先を読み進めて、問題を解き始めましょう。

※「メモしないとわからなくなる」という考えがありますが、それならば「メモしなくてもわかる」という方向に勉強して慣れれば済むことです。

- ① This is the biggest dog I've ever seen.
- ② I've never seen a bigger dog than this.
- ③ I've never seen such a big dog.

上記の 3 つの文がほぼ同じ内容なのはわかりますね？ それぞれを正確に訳すよりも

- ① This = the biggest dog I've ever seen.
これ = 一番大きな犬 私が今までに見たことがある(中で)
- ② I've never seen a bigger dog than this.
私は見たことがない これより大きい犬
- ③ I've never seen such a big dog.
私は見たことがない こんなに大きな犬

というように、英文を切りながら「意味を追加していく感覚」を身に付けましょう。

※切り方がわからない人は、英文を読む経験が不足しすぎです。

- ④ He always smiled and said “Hello,” when he saw Jack in front of the door of the church.

He	always	smiled and said “Hello,”	when he saw Jack
彼は	いつも	微笑んで”Hello”と言った	彼が Jack を見ると
	in front of the door	of the church	
	ドアの前	教会の	

都立の入試では対話文も長文も、**ほとんどが記号問題**です。4つの中から正しいものを選ぶ4者択一問題ですが、同じ単語を使っているから近い意味になるとは限りません。

- ⑤ She was so tired that she couldn't do her homework.

上の⑤と同じ内容を表しているものは次のうちどれでしょう。

- ⑥ She could not do anything because I made her tired.
⑦ She was too tired to do anything.
⑧ She became tired because she did her homework.
⑨ She was very sleepy but she tried to do her homework.

課題のやり方

今回のサマースクールでは、いくつかの短めの長文の中に使われている単語で、意味のわからないものを自分で確認し、調べて、最も適する意味を見つける練習をする予定でした。十一中 HP に掲載されるということで、最初から直接過去の都立入試を見て、**どの程度の分量か、どんな単語が使われているのか**を体験しながら調べてみましょう。

※11月から過去問の練習をする人のために、今回は入手しにくい平成25年度入試の問題を使います。
(書店やネットで入手できるものは平成26年度以降の問題です。)

プリントアウトできる人は、印刷したものを準備し、意味がわからない単語にマーカーで線を引いて、辞書で調べてみましょう。問題文の中にどれくらいわからない単語があるのか、どれくらいマーカーで線が引いてあるかを見て自分で確認してください。夏休みの宿題が終わってれば、かなりわかるようになっていると思います。しかしそれでもマーカーだらけになった人は少し焦って、できるだけ早い時期に、**見ただけでわかるようになるように覚えましょう**(書けなくてもかまいません)。

改めてもう一度書きます。**正確に訳す必要はありません**。ただし、過去か現在か、だれの発言かは必ず確認しましょう。

この問題の答えを求める必要はありません。今は「問1の答えが何か」より、**問題文を読むことに慣れ、スピードを上げる**ことが目標です。どうしても意味がわからない単語は、23日か夏休みが終わった後に質問を受けます。提出も不要です。